

令和4年度行政評価 事務事業評価シート(令和3年度実績)

事務事業コード	050201050	予算コード	01083457	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	地域課題解決型就職氷河期世代就労支援事業			正規職員数 0.1	国庫支出金 22,284	有効性	B	2年目となる令和4年度は、仕事体験の分野を増やし、参加可能な人数を増やしていく。	
担当課	まちの活性課			嘱託職員数 0	府支出金 0	効率性			
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	妥当性	B		
				歳出(千円)	その他 0	受益者負担	B		
				人件費総額 777	一般財源 8,205				
					減価償却費 0				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	30,489	緊急性	C		事務事業実施内容
実施手法	全部委託			市民1人当たりコスト(円)	309				<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを作成し、就労相談窓口を設置し、相談者を募った。 ・農業分野での仕事体験では、支援区分ごとにユニットを組んで作業を行い、本人に寄り添った支援を行った。
対象	活動指標			R3実績	公的関与	B			
特定の市民	対象数			相談者数	55.0	実施主体・委託化	B		
就職氷河期世代の就職困難者				仕事体験に参加した人数	46.0	他の事務事業との関連	C		
事業の内容	就労者につながった人数			13.0		透明性	C		
就職氷河期世代の方を対象として、地域が持続的に発展するために必要な産業分野において、就労支援・体験を実施する。	成果指標			R3実績	財政健全化計画	該当なし			
					財政健全化の取組	該当なし			
事業の目的	コスト指標			R3実績	改革改善プラン達成度	該当なし			
地域への貢献度が高い分野における就労支援・体験を通じて、「自分が活躍できる」という認識の変化と、それに基づく行動変容を図り、地域における持続的な発展に必要な役割を担っていく。	相談者1人当たりのコスト			554,345.0					